

# 地獄絵図再現

## 虫生広済寺

# 「鬼来迎」



地獄を舞台にした因果応報、勧善懲悪を説く全国で唯一の古典的地獄劇「鬼来迎」。

今年も地獄の釜が開くといわれる月遅れのお盆の8月16日に地元鬼来迎保存会のみなさんにより上演され、全国でも珍しい仏教劇を見ようと、県内外から大勢の観客が訪れました。舞台下手の檜の陰から突然響きわたる、鏡鉢（にようはち）の音と「ホッホッホ」の奇声。うだるような暑さの中、ざわめく見物客たちがはっと顔を上げると、いよいよ地獄の幕が開き、観客は地獄の世界へ…。  
また、幕間では鬼婆に抱かれた子供は健康に育つと言い伝えのある「虫封じ」が行われ、場内に赤ちゃんの大きな泣き声が響きわたりました。



▲大序



▲賽の河原



▲虫封じ



▲釜入れ

▼死出の山



鬼来迎は、地獄の責め苦や浄土への導きを骨子とする「大序」、「賽の河原」、「釜入れ」、「死出の山」の四段と、広済寺の建立縁起の「和尚道行」、「墓参」、「和尚物語」の三段からなります。

毎年上演されるのは、地獄の様を伝える四段であり、お盆の施餓鬼会の後に、広済寺境内で上演されます。